



## ひらりんちゃん通信 (園長室だより) ①

令和8年5月25日  
文京区立千駄木幼稚園  
園長 篠澤 恵理

千駄木幼稚園のイチヨウの枝からひらひらと舞い降りて、そっと子どもたちを見守る「ひらりんちゃん」のように、今年度も子どもたちの世界にひらりと舞い降りて気付いたことや、自分の子育てを振り返りながら思うことなどをお伝えします。子育ての喜びや悩みなど、保護者の皆様と一緒に味わう機会になればと願っています。

### 親になって「よかった」と思うこと

今年度は、「子育てトーク」の他に、「おしゃべりタイム」を、月1回行うことにしました。日頃の悩みを参加した皆さんと一緒に考える機会にもなりました。すぐに解決できることばかりではないかもしれませんが、話をしているうちに、心が少しでも軽くなればと思います。また、これがきっかけとなって、次はもっと気軽に話ができるとういなど思います。

「おしゃべりタイム」の話の中で、「親になってよかったと思うこと」について聞いてみました。ある方は、「子どもと一緒に過ごしていると、親になっていなかったら気付かないような見方ができるようになったり、子どもがいるからこそ行く場所が増えたりしていること」と答えていました。「子どもが関心を向けることに付き合ううちに、親のほうも好きなことのひとつになった」という方もいました。自分の子育て中は、子ども中心の時間配分で、振り回されるような感覚がありましたが、子どもがいるおかげで出合えることが多くなっていると思えるのは素敵なことだと感心しました。

先日は、年長組の親子ふれあいデーがありました。子どもたちは、とても嬉しそうな笑顔で、時には甘える表情が見られました。「もう年長組だから」と、急に対応を変えずに、「まだまだそうくるか…」と受け止める保護者の皆さんのやり取りも素敵でした。多くの感想もいただきまして、ありがとうございました。いくつか紹介します。

- ・大人も全力で夢中になって遊ぶ体験は、大切だなと感じました。
- ・創造力をより発揮させるためのサポートをしてあげたい、よき理解者でありたいと思いました。
- ・家でも同じように一緒に遊ぶ時間を大切にしていきたいと思いました。

子どものために親としてできることを考える姿勢は、子どもたちにも伝わり、今の自分を応援してくれていると実感できて、次の意欲につながると思います。

今年度の開園50周年のテーマは、「温かな心をつなぐ 笑顔をつなぐ 大好きがいっぱいの幼稚園」です。子どもたちだけでなく、保護者の皆様も、幼児期の遊びを追体験しながら、お子さんと一緒に「大好き」を見付け、親になって「よかった」と思うことの一つになりますように。これからも、子育ての喜びをしみじみと味わってまいりましょう。

**親子で楽しめる遊び** \* 毎日のちょっとした時間で遊べます。我が家の定番遊びでした。

- ・ハンカチ取り (親指と人差し指の間にハンカチを置き、相手に捕られないように閉じる)
- ・親指相撲 【ジャンケン遊び】 おちゃらかホイ ・あって向いてホイ
- ・握手でジャンケン (勝ったら相手の手の甲を叩く(くすぐる)負けたら自分の手の甲を守る)
- ・しりとり ・「あ」のつくものなあに (自分の名前と同じ文字を探すと楽しいです)
- ・さよなら三角 またきて四角 (四角は豆腐→豆腐は白い→白いはウサギ→ウサギは跳ねる)